



彩菜しんぶん

第22号 平成29年03月13日

安価（スーパーより安く）、良品に協力を！

登録生産者1,000人の大台へ 地球温暖化に向けた栽培戦略を

概況と課題

平成二二年一〇月大阪箕面店がオープンした年、年額換算で本店、箕面店の両店売上高が五億五千四〇〇万円、そして平成二七年度売上高が一億四千万円と倍増致しました。合わせて登録生産者数についても五〇〇人から一、〇〇〇人の大台に乗せとなり、中、四国でも有数の直売所規模になりました。今後につきましても生産者各位の奮闘を期待したいと思えます。

会社運営につきましては平成二二年五月社長就任依頼、舵取りを任せられ運営してまいりましたが痛感する事は、常に先手を打った迅速な事業運営が必要だと言う事です。寒締めホウレンソウは今では当会社のヒット商品になっており本年度に於ける販売量はシーズン中（一月一日〜翌年二月末まで）の間、過去最高の五万二千五〇〇袋販売しましたが販売開始時の糖度が中々上がらないと言う問題が生じています。又お気づきの方がおられると思えますが路地栽培の大根は通常一、二月に入ると地上に出た部分が凍害を受けて表面が傷み商品にならなくなりますが今年の場合そのような現象が見られません。地球温暖化が急速に進みつつあります。当直売所に於いても生産者各位が自覚し今まで不可能な事が可能になることが出て来ます。試行錯誤を重ね色々な作物、作型に挑戦して欲しいと思えます。会社におきまして今年からミカンの試験栽培者を募集し準備を進めています。一般的には栽培地としては暖かく、潮風がある所と言うのが既定概念ですが新たな展開を図る場合は何事も

思い切った取組みが必要です。美作市内でも食用として結構植えられており味もまずまずと言うことから今後栽培技術の向上などにより本格的栽培を計画するものです。当面栽培希望者三五人により着手します。

代表取締役 大澤 伸三

職員異動のお知らせ

平成二九年四月一日付けで本店小野支配人が大阪箕面店の店長で転出
大阪箕面店の小倉店長が本店の支配人に帰任致します。

野菜栽培技術の発刊について

この度(有)特産館みまさかでは野菜栽培者の為に野菜づくりの基本解説書を作成し、登録者全員に配布致します。

内容は野菜づくりの基本から始まり個別野菜の栽培方法を記載しています。今後栽培品目を増やし充実した解説書にしていく予定です。

糖度チャンピオンの表彰式開催！

平成二八年一月三日、おいしい野菜作り優秀生産者の表彰式が行われました。三五名の生産者さんが参加され、よい成績のものごたくさん提出されました。

大澤社長より「消費者に喜ばれる野菜作りが生産者にとって一番大切な事！今後自己研鑽に励んでください！」と挨拶がありました。

以下は結果です。

トマトの部

優勝	井上雅之	桃太郎	8.1度
二位	水島文章	桃太郎	6.3度
三位	丸山恵子	桃太郎	6.1度

すいかの部

優勝	薬師浩司	虎太郎	15.0度
二位	須田博美	虎太郎	14.8度
三位	田辺豊	祭ばやし	14.7度

ぶどうの部

優勝	神原正年	ピオーネ	23.0度
二位	妹尾美典	安芸クイーン	21.5度
三位	黒住雅	ピオーネ	20.2度

スイートコーンの部

優勝	小寺敏志	おおもの	21.7度
二位	須田博美	おおもの	21.5度
三位	松尾治	おおもの	18.0度

まくわりの部

優勝	本井伝頼敬	金太郎まくわ	13.3度
二位	小寺敏志	金太郎まくわ	11.6度
三位	岩谷広務	金太郎まくわ	11.2度



喜びの受賞者の皆さん

主任 松田 元久

支配人 小野 義雄

寒締めほうれん草を一年通じて楽しもう！

彩菜ブランドとして産声をあげた「寒締めほうれん草」は、販売をスタートして今年で六年目を迎えました。お客様の間でもブランドとして認知されるまでになりました。ただ残念なことに「寒締めほうれん草」を手にする事が出来るのは毎年十二月〜二月末までの三ヶ月間だけ。そこで、一年間通じて「寒締めほうれん草」を楽しんでいただきたいと、この春「寒締めほうれん草キーマカレー」(二袋四八〇円、税込)を販売することになりました。しっかり糖度が上がり収穫してすぐのほうれん草と相性バッチリの鶏肉ミンチで作ったカレーです。彩菜茶屋・彩菜みまさか彩都箕面店で販売致します

また、併設のレストランでも提供致します。旅行中の方を含め多くの方々に、召し上がっていただけます。また、まだ見ぬ全国の方々にも是非召し上がっていただきたいと思っております。

今後は美作市の「ふるさと納税」の返礼品にもお願いしたいと思っております。

美作発のご当地カレーは、これで三品となりました！

これからも皆様にお支え下さいますようお願い申し上げます。

春蒔き野菜の売れ筋状況（平成二七年度実績資料による）

28年6月出荷分				28年7月出荷分				28年8月出荷分				28年9月出荷分			
順位	品名	数量	金額	順位	品名	数量	金額	順位	品名	数量	金額	順位	品名	数量	金額
1	トマト	25,221	6,150,410	1	桃	11,733	8,884,490	1	ぶどう	20,013	13,009,440	1	ブドウ類	38,672	23,717,180
2	茸類	11,141	2,428,910	2	トマト	28,578	5,388,820	2	桃	4,377	4,184,400	2	茸類	19,627	4,226,352
3	キュウリ	14,887	1,673,370	3	スイートコーン	19,726	2,943,490	3	トマト	23,139	4,173,340	3	栗	7,660	3,019,110
4	米	1,057	1,591,480	4	茸類	10,464	2,241,530	4	茸類	13,309	2,831,130	4	トマト	14,547	2,976,350
5	ジャガ芋	8,791	1,373,440	5	ナス	17,768	2,170,820	5	ナス	20,421	2,333,020	5	米	1,623	2,369,630
6	はちみつ	664	1,085,390	6	アスパラガス	13,860	1,908,380	6	切り花	10,190	2,268,020	6	キュウリ	17,036	1,965,760
7	タマネギ	8,264	1,037,660	7	キュウリ	18,775	1,865,790	7	菊	6,680	2,265,330	7	ナス	17,355	1,867,130
8	苗物	8,608	1,036,700	8	米	1,128	1,606,810	8	キュウリ	18,117	1,919,480	8	菊	4,782	1,556,840
9	インゲン	7,922	987,060	9	ブルーベリー	3,403	1,418,640	9	オクラ	15,541	1,729,940	9	オクラ	11,989	1,327,690
10	卵	3,005	982,880	10	インゲン	10,302	1,221,700	10	アスパラ	13,165	1,711,370	10	アスパラガス	9,428	1,265,080
11	キャベツ	7,135	965,490	11	ジャガイモ	7,635	1,127,110	11	米	1,148	1,632,920	11	南京	8,437	1,237,920
12	大根	7,268	809,120	12	タマネギ	7,943	1,125,030	12	ブルーベリー	2,828	1,423,980	12	切り花	5,346	1,143,510
13	アスパラ	5,287	788,080	13	ぶどう	1,252	1,023,670	13	南京	7,720	1,151,190	13	大根	7,841	1,041,920
14	ネギ	7,787	784,710	14	卵	2,929	966,680	14	シキビ	4,008	1,092,460	14	ショウガ	5,056	1,033,070
15	ニンニク	3,328	737,250	15	ピーマン	9,309	932,350	15	卵	2,777	949,740	15	卵	3,050	1,029,620
16	ズッキーニ	6,542	726,200	16	切り花	4,160	738,300	16	ジャガ芋	6,625	935,270	16	ピーマン	10,144	943,690
17	人参	6,134	674,580	17	ニンニク	2,855	731,160	17	タマネギ	5,507	876,610	17	シキビ	3,225	904,660
18	梅	1,435	638,500	18	しそ	7,597	697,620	18	ピーマン	9,000	875,830	18	ニンニク	2,934	894,670
19	切り花	3,452	618,840	19	オクラ	5,929	695,550	19	スイカ	1,215	807,360	19	いちじく	3,143	851,700
20	めだか	589	581,080	20	蜂蜜	399	686,690	20	ニンニク	2,798	805,300	20	インゲン	6,373	807,090
21	ブロッコリー	4,166	560,230	21	スイカ	1,186	678,680	21	スイートコーン	5,733	777,800	21	ジャガイモ	5,196	778,840
22	ブルーベリー	1,363	547,920	22	ネギ	5,710	609,390	22	はちみつ	421	728,520	22	蜂蜜	398	772,430
23	柑橘	2,190	530,370	23	メダカ	562	568,970	23	インゲン	5,623	684,650	23	白ネギ	4,898	631,490
24	らっきょう	938	474,810	24	キャベツ	4,225	543,620	24	梨	1,367	611,810	24	桃	826	616,620
25	リーフレタス	3,930	469,720	25	菊	2,049	528,640	25	ゴーヤ	5,176	553,040	25	里芋	2,420	585,350
26	レタス	4,175	451,420	26	メロン	2,594	506,700	26	ネギ	4,642	513,550	26	サツマイモ	2,949	576,020
27	イチゴ	1,399	443,610	27	南京	3,098	504,010	27	メダカ	456	444,490	27	梨	1,371	568,940
28	小松菜	4,265	401,570	28	ズッキーニ	3,791	420,280	28	黒大豆枝豆	1,665	419,470	28	ネギ	4,662	522,660
29	白菜	2,960	397,620	29	ゴーヤ	3,216	369,760	29	メロン	2,477	378,120	29	ごぼう	2,488	519,470
30	ナス	2,787	376,020	30	大根	3,068	359,780	30	ショウガ	1,815	377,750	30	メダカ	505	509,680
31	しそ	3,892	361,670	31	枝付枝豆	1,477	354,220	31	しそ	4,289	369,620	31	タマネギ	3,083	479,820
32	ふき	2,005	352,170	32	人参	3,328	349,520	32	白ネギ	2,682	345,930	32	ゴーヤ	4,086	424,630
33	タケノコ	1,688	337,200	33	葉菜類	2,784	308,450	33	ししとう	2,979	290,260	33	枝豆	1,379	391,390
34	スイートコーン	2,202	336,540	34	黒大豆枝豆	1,266	290,950	34	万願寺唐辛子	2,306	281,590	34	ブルーベリー	528	320,810
35	鉢物	628	333,430	35	ミョウガ	2,327	269,410	35	ごぼう	1,584	272,910	35	万願寺唐辛子	2,786	313,400

生産者の皆様にはいつもお世話になっております。岡山県北の今年の冬は例年になく積雪で、本当に大変だったことと思います。その大変さをお客様との会話の中で話題にすることが多かったのですが、実際の生産者の皆様の大変さは中々伝わらないと痛感しております。とはいえ、今年は箕面市も雪が降る日が何日もあり（例年通りであれば年に一日くらいでしょうか）、岡山が大雪のため出荷量が少ない日があるというところは理解していただいていると思います。そして冬が過ぎ、本格的な春が近づいて、ワラビ・筍などの山菜の出荷が始まるのをお客様は心待ちにしております。今年度も沢山の出荷をお願い致します。

変わった野菜も値ごろ感があれば

箕面店はオープン当初に比べ、スーパーに並ぶことのないような根っこ付きのセリ、自生のクレソンなど直売所らしい商品も充実しつつあります。また、聞きなれない変わった野菜が出荷されることが増えてきたように思います（例えば、アーティチョーク・サボイキャベツ・黒キャベツ・コウサイタイ・エンダイブ・エシヤロット・モーウイ・かぐらなんばん・ゼブラナス・ロマネスコ・バイオレットクイン・シャドークイン・オレンジクイン・ルタバガ・秋縞ササゲ・獅子ゆず等々興味があれば一度調べてみてください）。これらのような珍しい野菜でも値ごろ感があれば売れ行きが良いように思われます。

お客様が初めて見るような野菜であっても、ちょっと買ってみようかと思えるような値付けをお願いします。では、これからも直売所らしいおもしろい商品の出荷をお願いします。

箕面店副店長 小林隆一

箕面店売り場拡張します

店内がラッシュ時に危険なためと将来に向けての増容対策として拡張工事を行います。工期は六月に完成する予定です。売り場面積が約百六㎡増えますので生産者の方しっかり生産物を出荷して下さい。

編集後記

地球温暖化についてトランプ政権は必ずしも二酸化炭素の増加によるものではないとし、大きな政策転換を図っています。事が人類の存亡を掛けた問題であり事態の動向に懸念を抱きます。野菜生産者にとっては天候の異変は生産量に影響し気になる所です。農家の温暖化に対する対策として今年からミカンの試験栽培を試みる事としました。又先般県産米のきぬむすめが味の最高位、特Aを取得した事から特産館に於いても積極的に販売して行きたいと考えています。特にこの品種は耐高温性に優れており、これからヒノヒカリに変わる有利な品種と思われるます。米の需給見通しについては平成三〇年から転作廃止の方針が出されてお見通せない状況ですが特産館においても誘客の柱と捉え独自での販売方法を検討中です。

編集長 大澤 伸三